

MASAKO TAKAHASHI HOSPITAL ART PROJECT IN NAGANO CHILDREN'S HOSPITAL



長野県立こども病院のPICU増築工事に伴うホスピタルアートのトータルコーディネートとアート制作を行いました。増築棟に新たに建設された8床の病室、スタッフステーション、面談室2部屋。壁紙、ロールスクリーン、家具などのカラーコーディネートから、壁面のアート制作に至るまで、2016年7月の構想から2017年3月まで、半年以上に亘るプロジェクトとなりました。

コンセプトは安曇野の自然と色の力。アートの力が安らぎを与え、エネルギーを与えてくれますように！願いを込めて制作しました。



テーマカラーで統一した病室。上部に設置されたウォールシステム（医療設備機器）、両サイドにあるガラリ（吸込口）にも配色





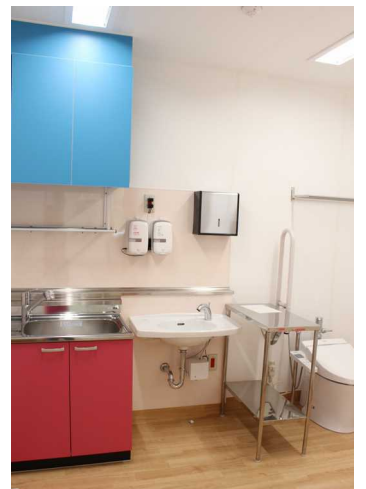
旧PICU。医療機器が目立ち、無機質で寒々しい印象。
ICUの看護師長さんから「ICUという環境にあっても一般病棟、もしくは自宅のような家族が安らげて子どもが少しでも恐怖が軽減できるような内装をお願いしたい」とご依頼いただきました



各部屋を隔てるロールスクリーンも
テーマカラーに合わせて



スタッフの方々が使用
する薬剤室、器材室、
汚物室なども明るい配
色に





病院のご要望により、オリジナルキャラクター「ちるくま」君もスタンバイ

2017年3月、患者さんの引っ越しを前に、壁面のアート制作を行いました。

DAY 1

中央に位置する個室には燦々と輝く太陽。「元気の出る絵」のリクエストを受けて



スタッフステーションの壁面。中央のフレームには、スタッフの皆さんが手作りする季節ごとの作品が展示される予定

1日目に描いた絵にアウトラインを入れて仕上げ



太陽の部屋の隣はシャボン玉の部屋。天井まで優しい色彩のシャボン玉を飛ばしました



DAY 2



スタッフステーションには
テーマカラーの風船と
病院のロゴマーク

DAY 3



新設する病棟にホスピタルアートを取り
入れたい！ICU鬼澤師長のご依頼により
今回のプロジェクトがスタートしました

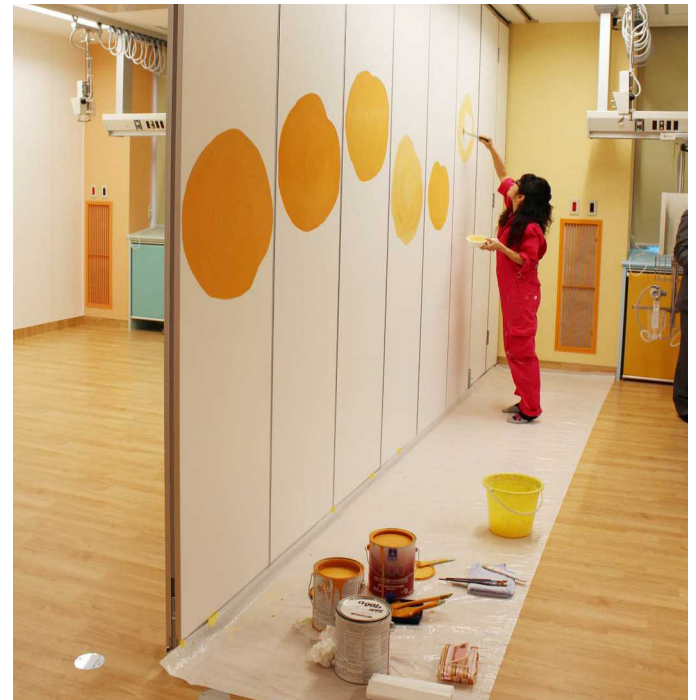




安曇野の山をイメージしたグリーンの部屋。
ゆったりと大らかな山が子どもたちを見守ります



気持ちを落ち着かせてくれるパープルの
部屋。長野のラベン
ダー畑を描きました



オレンジとブルーの部屋。ベッドが入り、徐々に
引越しの準備が始まります





DAY 5

病院への道すがらに出会った樹が
ブルーの部屋のモチーフ



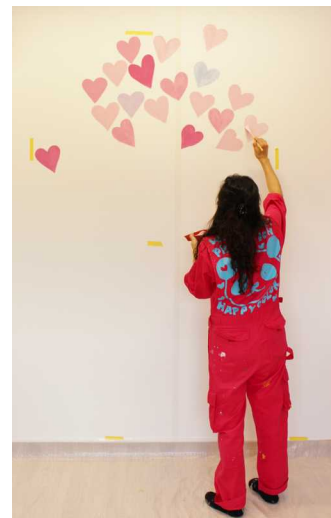
各部屋の仕上げ
や調整作業が毎
日続きます

各部屋のプレートの色や
設置位置も監修



DAY 6

安曇野の山々を臨むピンクの部屋には、ハートの木を描きました



面談室1には安らぎをはこぶ
白い鳥と青い鳥

DAY 7



稼働をはじめるとスタッフしか入ることのできないPICU。見学会には多くの職員さんが訪れました



病院の広報誌を作っている先生も取材に

連日様子を見に来て下さった原田院長先生



面談室2には8色のテーマカラーを配しました



今回のプロジェクトスタートのきっかけとなった2人の看護師長さん。ICU鬼澤師長と病棟赤堀師長

7日間のアート制作を経て、新PICU
病棟が完成しました！

PICU 8

PICU 7









木々豊かに生い茂り
 みずみずしく実り、澄んだ水に恵まれ
 花々が楽しげに咲きほこり
 太陽は燦々と輝き
 希望をのせたシャボン玉が空高く舞い上がり
 雄大な山々に見守られ
 ラベンダーの清き香りにいやされ
 やさしい思いやりに包まれ
 和やかなハーモニーと安心感のあるところ

愛のある長野県立こども病院PICU

Concept for Nagano Children's Hospital
 MASAKO TAKAHASHI

